

県内経済の動き

基調判断 このところ横ばいとなっている

製造業	→	一時的下落からの回復	公共工事	→	弱めの動き
大型小売店販売動向	→	横ばい	観光	→	持ち直している
乗用車販売動向	→	横ばい	雇用	→	高水準が続く
住宅着工	→	横ばい	企業倒産	→	低水準が続く

[直近の3カ月の変化の方向] → 上向き → 横ばい → 下向き

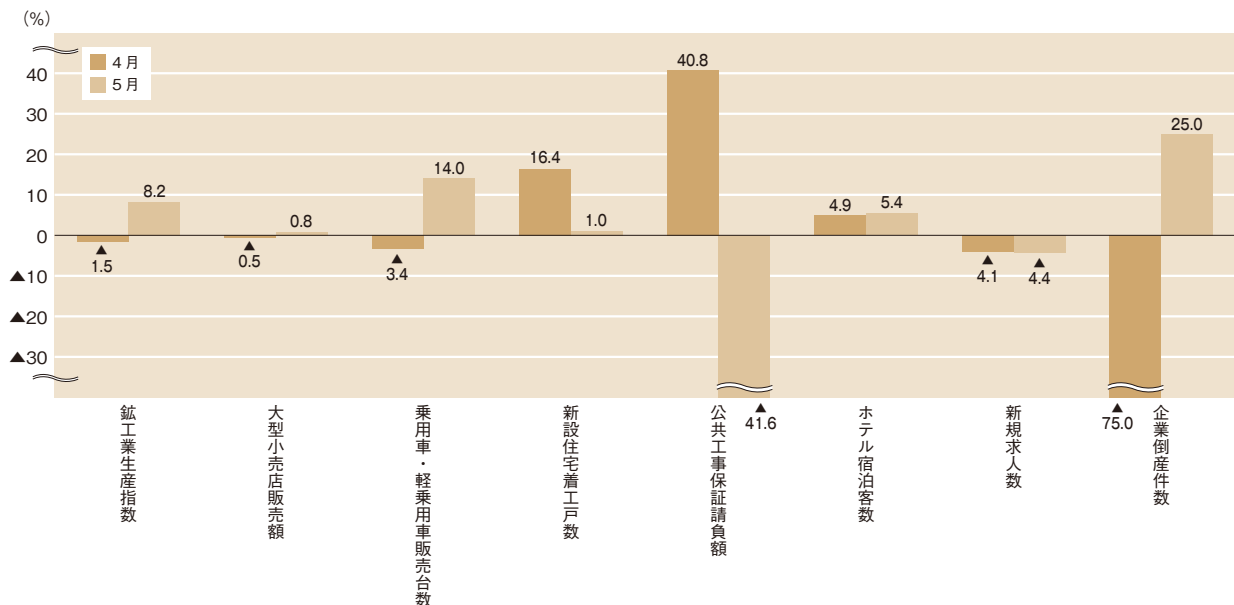
注) 1. 大型小売店販売動向は、百貨店・スーパー・専門量販店（家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター）の販売動向

大分県の主要経済指標の動き

	2018.5	6	7	8	9	10	11	12	2019.1	2	3	4	5
鉱工業生産指数	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	—
大型小売店販売額	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○
乗用車・軽乗用車販売台数	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	●	●	○
新設住宅着工戸数	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	●	○	○
公共工事保証請負額	○	○	●	○	●	○	○	●	●	●	●	○	●
ホテル宿泊客数	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新規求人数	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	●	●	●
企業倒産件数	●	△	●	○	○	○	●	○	○	●	●	○	●
プラス指標の割合	37.5	62.5	50.0	87.5	25.0	87.5	62.5	37.5	62.5	62.5	12.5	62.5	57.1

注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化
 2. 鉱工業生産指数は公表日の関係から最新月「—」表示
 3. 大型小売店販売額は、百貨店・スーパー販売額と専門量販店（家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター）販売額の計
 4. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 5. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計

県内主要経済指標（4月・5月分の前年同月比）



注) 1. 鉱工業生産指数は他の指標の各1カ月前の数字
 2. 大型小売店販売額は、百貨店・スーパー販売額と専門量販店（家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター）販売額の計
 3. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 4. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計